

令和6年度第2回 岡谷市商業活性化会議

令和6年度 事業報告について

令和7年3月

岡谷市役所産業振興部商業観光課

岡谷商工会議所

岡谷市商業連合会

岡谷TMO

目 次

1. 令和6年度の事業について

【1】岡谷市

- ① 商業等振興補助金「中小小売店舗活性化事業補助金」
- ② オカヤペイ普及拡大事業
- ③ シルキーバス利用促進事業
- ④ 岡谷市中小企業融資制度
- ⑤ 創業スクール
- ⑥ テクノプラザおかや コワーキングスペース
- ⑦ おかやシェアオフィス
- ⑧ 空き店舗情報発信強化事業
- ⑨ インスタグラムを活用した商店魅力発信事業
- ⑩ 観光宣伝事業
- ⑪ 岡谷シルク商品開発促進事業
- ⑫ 市内店舗／商業会等との定期的な意見交換
- ⑬ 岡谷TMO商業活性化事業補助金

【2】岡谷商工会議所

- ⑭ Okaya Pay事業
- ⑮ 地域資源活用推進事業
- ⑯ 創業支援及び新事業創出等支援事業
- ⑰ 移住・定住促進支援事業
- ⑱ 事業承継支援事業
- ⑲ プロスポーツチーム連携による地域振興の推進

【3】岡谷TMO

- ⑳ 中心市街地の情報把握と活用
- ㉑ まちづくり人材の育成
- ㉒ 道路・公園等の公共空間の有効活用
- ㉓ 中心市街地イベントの実施支援
- ㉔ 情報発信の強化
- ㉕ 商業活性化補助金の交付

【4】岡谷市商業連合会

- ㉖ 商業会等に参加する店舗を対象とした販売促進事業
- ㉗ 専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会

【1】岡谷市

基本戦略 1 商店街魅力向上戦略

【重点施策】

- (1) 商店の魅力向上に向けた支援
- (2) 新規創業支援
- (3) 空き店舗対策
- (4) 商店主の事業承継支援に向けた取組

【 基本戦略1 重点施策1（重要度:A・優先度:A） 】

【 基本戦略1 重点施策2（重要度:A・優先度:B） 重点施策3（重要度:A・優先度:A） 】

【 基本戦略2 重点施策5（重要度:A・優先度:A） 】

①商業等振興補助金「中小小売店舗活性化事業補助金」

●補助実績

	新規 改修	新規飲食 改修	既存 改修	賃借料 1年目	賃借料 2年目	個店 診断	計（新規創業件数は実数）
令和6年度 （2月末時点）	0	2	2	3	6	0	13（うち新規創業件数:3）
前年度決算比	0	▲2	▲2	0	▲13	0	▲17（うち新規創業件数:▲3）

【令和6年度実績（実数）】

飲食店：4件
（うち新規2件）

小 売：5件
（うち新規0件）

サービス：3件
（うち新規1件）

自己
評価

補助金を活用いただくことで、商業者の皆さんの負担軽減につながり、岡谷での商売継続や出店の後押しができています。今後はさらなる周知・PRをSNSや広報おかや等により積極的に実施し、市内出店の強化へつなげて参りたい。

【 基本戦略1 重点施策1（重要度:A・優先度:A） 】

【 基本戦略2 重点施策5（重要度:A・優先度:A） 】

②オカヤペイ普及拡大事業

オカヤペイは令和2年4月からサービスを開始した商工会議所の事業。取扱店舗の魅力向上とともに、オカヤペイに対する支援を行いました。



・市においては、オカヤペイの普及に向けて、行政ポイントを発行（26種類）

担当課等	ポイント付与の内容	担当課等	ポイント付与の内容
医療保険課	特定健診受診者	介護福祉課	介護予防講演会参加者
	人間ドック受診者		生きがいデイサービス参加者
	運動療法講座受講者		〃 新規参加登録者
健康推進課	後期高齢者健診受診者		新規グループ活動参加者
	後期高齢者人間ドック受診		新規グループ活動新規参加登録者
	各種がん検診受診者		高齢者クラブ新規参加者登録者
	各種健康講演会参加者	子ども課	出産おめでとう
	ゲートキーパー養成講座受講者	環境課	こどもエコクラブ参加者
	基本健康診査受診者		一斉気温測定参加者
	禁煙外来受診者		緑のカーテンコンテスト入賞者
	健康診査受診者	商業観光課	シルキーバス回数券購入者（おでかけパスを除く）
	パパママ教室参加者	こどものくに	来館者
	離乳食教室参加者	秘書広報課	広報おかや「広報クイズ」の正解者の中から抽選

自己
評価

市の各種事業へ参加してくださる方々のうち、オカヤペイカード・アプリを持っていない方も当然いることから、オカヤペイユーザーの新規獲得につながっている。一方で、取扱店舗が少ないという声もある。

③シルキーバス利用促進事業

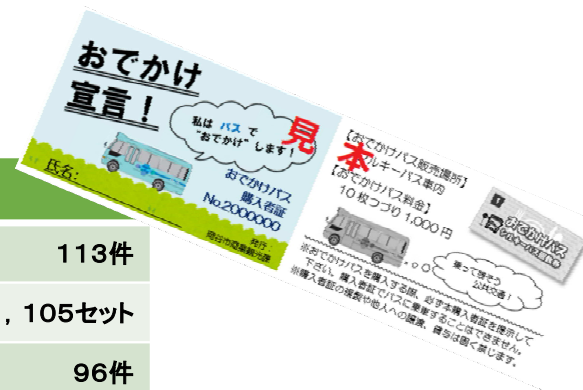
全国的に増加している高齢ドライバーによる交通事故等の状況等を受けて、運転免許証自主返納者へ無料回数券（12枚綴り）を3枚交付し、運転免許証自主返納者と75歳以上の方を対象とした、**おでかけパス**（シルバー回数券）を、1000円で販売しています。併せて、80歳以上の自主返納者の方に、福祉タクシー利用券（10回分）1枚を交付しています。

なお、令和6年度は、高齢者の方々に気軽にバスを利用していただくため、高齢者クラブの各地区代表者の方を対象に「バスの乗り方教室」を開催しました。

公共交通を利用することで、引き続き市街地に足を運び、買物・通院、社会参加ができるよう、高齢者の外出頻度向上を図りました。

- ・令和2年4月～：運転免許証返納者へ回数券等交付（12枚綴り 3枚＋オカヤペイカード）
- ・令和2年5月～：75歳以上及び運転免許証自主返納者へおでかけパスを販売（10枚綴りを1,000円）
- ・令和4年4月～：運転免許証自主返納者のうち80歳以上の方へふくし～利用券交付（1枚 10回分）
- ・令和5年4月～：エコドライブ推進事業所に対してシルキーバス回数券を交付（12枚綴り）

	令和6年度(2月末)	令和5年度末
運転免許証返納者への回数券交付	132件(+19件)	113件
おでかけパス販売枚数	1,078セット(▲27セット)	1,105セット
福祉タクシー(ふくし～)利用券交付	90件(▲6件)	96件
岡谷市エコドライブ推進事業所支援事業	6件(▲8件)、720回分(▲972回分)	14件、1,692回分



自己
評価

自分で運転することができなくなった高齢者の方々の交通手段としてシルキーバスをご利用いただくことで、引き続き、市街地での買い物や外食といった商業施設の利用を促進できている。（乗車人数累計 R6.2月末：96,858人 R7.2月末：100,750人（+3,892人））

④岡谷市中小企業融資制度

岡谷市制度資金は、中小企業の皆さまが事業に必要な資金を適正・円滑調達し、商工業の振興と健全な発展をしていただくため、**市が金融機関に対して資金を預託し、金融機関を通じて低利な融資を行う制度**です。

原則として長野県信用保証協会の保証付き融資となっており、この際、事業者が保証協会に支払う保証料は、一部資金を除き、融資実行時に市で一部または全額を負担しています。

○おかやグリーン成長対策資金

環境に配慮し、設備の設置又は改善したい、またはグリーンイノベーション市場へ参入したい中小企業者のなかで以下のいずれかに該当するもの。

令和7年2月末現在実績1件（うち商業関係0件）。

①地球温暖化対策のための、太陽光発電装置等の自然エネルギー利用設備や省エネルギー設備を設置又は改善を要するもの。

②事業所の節電及び省エネルギー対策のための設備の設置、改善及び修理に要するもの。

③グリーンイノベーション市場等の環境分野に新たに参加するために必要な施設・設備及び研究・開発に要するもので、参入事業計画が立てられる事業内容であるもの。

④その他、環境への負担が少ないと認められる設備及び環境保全に資する技術の研究・開発によるもの。

	貸付利率・貸付期間等
資金用途／限度額	運転・設備資金／5,000万円
貸付利率	年利0.8%
保証料	全額補助(市)
貸付期間／返済方法	設備:10年以内(据置1年以内含)／月賦返済 運転:7年以内(据置1年以内含)／月賦返済

○原油価格・物価高騰等対策特別資金

原油価格・物価高騰等の影響を受け、企業収益が減少している中小企業者のなかで、以下のいずれかに該当するもの

令和7年2月末現在実績51件（うち商業関係7件、総額8,850万円）。

①最近3ヶ月の売上総利益率が過去3年間のうち、いずれか同期のいずれか同期の売上総利益率と比較して5%以上減少

②最近1ヶ月の売上総利益率が前年同期の売上総利益率と比較して5%以上減少し、かつ、その後2ヶ月間の見込みを含む3ヶ月間の売上総利益率が前年同期の売上総利益率と比較し5%以上減少

③セーフティネット5号を利用するものの中で、市長が認めたもの

	貸付利率・貸付期間等
資金用途／限度額	運転資金／2,000万円
貸付利率	年利0.8%
保証料	全額補助(市)
貸付期間／返済方法	5年以内(据置1年以内含)／月賦返済

自己
評価

低利率・保証料全額補助といった有利な融資であるため、商業関係事業者の経営支援となつたと考えている。さらに周知を図ることで利用したいときに利用できるよう事業に取り組みたい。

【 基本戦略1 重点施策2（重要度:A・優先度:B） 】

⑤創業スクール

岡谷・諏訪・茅野・下諏訪の3市1町の自治体・商工会議所が連携して、諏訪地域で創業をするために必要な実践的基礎知識を学ぶことができるスクールが開講されました。創業前の心構え、ビジネスプラン作成、経営の分析手法など創業に関する充実のカリキュラムです。

【募集対象】▶ 創業を考えている方 ▶ 創業に不安をお持ちの方 ▶ ビジネスプラン作成を学びたい方 ▶ 仲間と出会いたい方

特定創業支援等事業

・国から認定を受けた創業支援等事業計画に基づき、右表の★印のあるカリキュラムをすべて受講し、かつ全体の70%以上出席した受講者は、各種支援施策が受けられます。（株式会社設立登記時の登録免許税の軽減 等）

※岡谷市の補助制度

- ・広告宣伝支援（補助率1/2以内、限度額30万円）
ホームページやパンフレット作成等、広告宣伝に係る経費
- ・設備等購入支援（補助率1/2以内、限度額20万円）
機械装置・工具・器具・備品の購入に係る経費

【令和6年度実績】

申込者数27名（うち岡谷市からの参加者7名）

カリキュラム					※休日が1時間ございます
日程	テーマ	講座内容	時間	特定創業支援等	
1 10/5± 9:00~17:00	セミナーのあらましを理解し、事業・会社を思い描く	創業スクール概要・カリキュラム説明・特定創業支援の説明と特典	1.0h	★全般	
		セミナーの到達点・創業前の心構え	1.0h		
		創業って何だろう	1.0h		
		創業する際の手続き(ルール・支援施策・労働保険・共済など)	2.0h	★経営 ★人材育成	
2 10/12± 9:00~17:00	創業のあらましと事業・会社の組み立て方を理解する	グループワーク 事業・会社を思い描く①	2.0h		
		グループワーク 事業・会社を思い描く②・グループ発表	2.0h		
		SWOT分析のワーク①	1.0h	★経営	
		SWOT分析のワーク②	2.0h		
3 10/26± 9:00~17:00	経営分析手法の基礎、会計を理解する	販売促進・業務効率化・パソコン会計・e-taxなど	2.0h	★販路開拓	
		事業の階層・4P分析・PDCAサイクル	1.0h	★経営	
		ビジネスモデルキャンパスのワーク	2.0h	★全般	
		オープンマインド【マダラート】を使ったワーク	2.0h	★全般	
4 11/9± 9:00~17:00	会社と法律について学ぶ・経営分析手法の応用	記帳、決算、納税	2.0h	★財務	
		会社と法律	1.0h	★経営	
		資金繰りとワーク(お金のやりくり)	2.0h	★財務	
		制度資金とその仕組み	0.5h	★財務	
5 11/16± 9:00~17:00	創業計画を作成する①	信用情報機関について	0.5h	★財務	
		金融機関について	2.0h		
		創業計画の狙い	1.0h	★全般	
		創業事業計画書作成①	7.0h	★全般	
6 11/30± 9:00~17:00	創業計画を作成する②	創業事業計画書作成②	2.5h	★全般	
		発表と講評	4.5h	★全般	

自己評価

スクールを受講し、開業に至る方々を生み出しているのはもちろんのこと、「同時期にスクールを受講した開業者同士の“横のつながり”が大変ありがたい」との声をいただいている。市内での創業につながるよう、支援に取り組んでいきたい。

⑥テクノプラザおかや コワーキングスペース

リモートワーク、ワーケーション、ソーシャルビジネスなどの多様な働き方に対応すべく、テクノプラザおかや内に予約不要で利用可能なドロップイン型のコワーキングスペースを運営しています。

安価な料金で長時間利用可能であり、リモートワーカーやフリーランスの方以外にも、市内で創業を希望する方、創業間もない方の事務スペースとして活用されています。

○コワーキングスペース利用実績

	岡谷市内	諏訪地域内 (岡谷市以外)	長野県内 (諏訪地域以外)	長野県外	シェアオフィス 入居者	その他 (団体利用)	合計
令和5年度	198	64	114	199	6	310	891
令和6年度 (2月末)	119	60	137	222	2	410	950

○利用目的内訳（複数回答有）

	リモートワーク	WEB会議	商談	創業準備	その他
令和5年度	477	90	8	3	454
令和6年度 (2月末)	447	114	11	2	456



料金(1人)		営業時間	
1時間以内	100円	平日	8:30~21:30
1時間超~ 6時間以内	500円	土日	8:30~17:30
6時間超	1,000円	休館日	祝日及び 年末年始(12/28-1/3)

(利用可能な設備等)

・無料Wi-Fi ・プリンター ・シュレッダー ・プロジェクター
・スクリーン ・ホワイトボード ・空気清浄機 ほか

【 基本戦略1 重点施策2（重要度:A・優先度:B） 】

⑦おかやシェアオフィス

近年の多様な働き方に対応し、首都圏等に拠点を置く企業のサテライトオフィスとして、若者の地方回帰の受け皿となるべく、**創業支援を充実させ、新たに事業を始めるスタートアップの場所**として、利用促進に関する事業などを通じ、企業誘致や関係人口の創出を推進しています。

○利用実績

部屋	個別ブースA (6ブース)	個別ブースB (4ブース)	オフィス (3室)
令和5年度	4者	3者	1者
令和6年度 (2月末)	5者	3者	3者

【参考】使用料等

部屋	面積(㎡)	月額使用料① (円)	月額使用料② (円)	営業時間	
個別ブースA	1.68	10,000	5,000	開館日	8:00～21:30
個別ブースB	2.18	13,000	7,000		
オフィス1	10.2	63,000	32,000	休館日	年末年始 (12/29-1/3)
オフィス2	10.4	65,000	33,000		
オフィス3	9.2	57,000	29,000		



定員
 個別ブースA:6名
 個別ブースB:4名
 オフィス1～3:各室3名程度

(利用可能な設備等)WEB会議対応モニター
 ・無料Wi-Fi ・複合機 ・(可動式有)
 ・スマートロック ・ポスト、宅配ボックス ・テクノプラザ連絡用PC ほか

自己
評価

安価で利用しやすく、コロナ禍以降の新たな働き方を推進し、岡谷市内での事業拡大支援の拠点となっている。

⑧空き店舗情報発信強化事業

空き店舗の活用と新規創業を促進するため、不動産業者、商工会議所と連携を深める中で、空き店舗に関する情報を積極的に発信するとともに、新規創業希望者と空き店舗のマッチングを推進しています。

なお、諏訪圏における最新の物件を紹介している「ココスマ諏訪」のご協力をいただき、令和5年度から岡谷市のホームページにリンクを貼らせていただき、ご覧になれるようになりました。

- ・令和5年度成約実績・・・3件
- ・令和6年度成約実績・・・2件（2月末時点）



R7.1月 オープン 雑貨屋: でに夢(イルフプラザ2F)

自己
評価

「ココスマ諏訪」へのアクセス数は不明だが、リンクを貼る前後で、商業観光課への電話問い合わせが明らかに減っていることから、市のホームページから最新の物件情報へ誘導できているものと考えている。

基本戦略 2 消費者満足度向上戦略

【重点施策】

- (5) 消費者から選ばれる
商店の魅力向上に向けた支援
- (6) 市内店舗などの知名度向上に向けた
情報発信の推進
- (7) 市外からの顧客獲得に向けた取組

【 基本戦略2 重点施策6(重要度:B・優先度:A) 】

【 基本戦略1 重点施策1(重要度:A・優先度:A) 】

【 基本戦略2 重点施策5(重要度:A・優先度:A) 重点施策7(重要度:B・優先度:B) 】

⑨Instagramを活用した商店魅力発信事業

令和2年8月1日からアカウント「enjoy_okaya」を開設し、市内店舗等の知名度向上と誘客促進につなげることを目的に、Instagramを活用した市内店舗情報（店舗外観や商品・サービス内容）の発信を行っています。

開設から4年が経過し、令和7年2月末現在、フォロワー数は**1,570人**です。概ね月2～3回のペースで情報を更新しており、令和6年度中に**計40回投稿**しました。

広報おかやの店舗紹介につきましても引き続き実施し、岡谷のお店紹介や各種イベント、事業の紹介などを幅広く周知し、PRに努めていきます。

自己
評価

フォロワー数が増加しているため、Instagramを活用した情報発信の効果が今後さらに強まると感じている。引き続きフォロワーの獲得に努めるとともに、有益な情報発信に努めたい。



【 基本戦略2 重点施策7(重要度:B・優先度:B) 】

【 基本戦略1 重点施策1(重要度:A・優先度:A) 】

⑩観光宣伝事業

◆岡谷市観光案内所運営事業

岡谷駅構内の観光案内所では、観光案内をはじめ、e-バイクやシティサイクルのほか、新たに電動アシスト自転車 5 台を導入し、レンタサイクル事業を行うなど、本市の魅力を幅広く P R しました。

	案内所訪問者数	レンタサイクル貸出台数
R5実績	12, 081人	950台
R6実績 (2月末)	12, 072人	1, 157台

◆岡谷市ワーケーション等実施支援補助金

ワーケーション等を目的として岡谷市を訪れる企業等を支援するため、宿泊費を対象に補助金を交付しました。

企業		個人事業主		学生		合計
1件	東京都	10件	東京都 神奈川県 千葉県 京都府 長野県	2件	神奈川県	13件



レンタサイクル



ワーケーション

⑩観光宣伝事業

◆諏訪湖サイクリングロード活用推進事業

諏訪湖サイクリングロードの全線開通と諏訪湖スマートインターチェンジの開通を見据えて、岡谷市の持つ自然景観、観光、歴史文化、食などをサイクリングで繋ぎ、観光客に地域の魅力をPRしました。

●モニュメント作成・設置工事

サイクリングツアーや広報活動を通じて県内外に向けた情報発信・PRのツールとして、岡谷湖畔公園“希望の広場”に諏訪湖と岡谷市を発信するモニュメントが10月末に完成しました。



令和6年10月27日実施サイクリングツアー＆ワカサギ釣り

自己
評価

レンタサイクル、サイクリングツアー、モニュメント設置等により、「岡谷＝サイクリング」というひとつのブランディングが進みつつあると感じるとともに、今後はこれまで積み上げてきたコンテンツを活用し、市外からの観光客を増やせるよう、観光宣伝に努めたい。

【 基本戦略2 重点施策7(重要度:B・優先度:B) 】

⑪岡谷シルク商品開発促進事業

岡谷シルクの普及促進に向けて、岡谷シルクブランド協議会で認定する岡谷シルク製品アイテムを増やし、岡谷市＝シルクのイメージPRにつなげていくため、岡谷シルクを使った新商品の開発及びデザイン費などの経費に対して、その一部を補助するものです。また、岡谷シルクの認定商品が増えることで、**来訪者へシルクの魅力を知っていただくきっかけとなる**ため、シルク関連の観光土産品としての販売も進めています。（令和7年2月末時点：累計7件）



概要：国内事業者等が岡谷シルク製品の認定を目指し、新商品の開発及びデザイン費などの製作に係る経費の一部を補助する。

対象経費：原材料費、製品の附属材料費、外注加工費、委託費など

補助額：事業費の1／2 ※上限20万円

○岡谷シルクブランドに認証・登録された件数（参考）

	プラチナシルク	マルベリーグリーン	スワコブルー	アザレアレッド	合計
累計登録件数 (R6年度登録件数)	6件 (1件)	47件 (15件)	24件 (6件)	9件 (2件)	86件 (24件)



自己
評価

補助金の利用実績は少ないものの、岡谷シルクの認定商品は順調に増えていることから、岡谷市の観光土産品としてのラインナップも豊富となってきている。補助金の利用を促進し、さらなる商品増加に努めたい。

基本戦略 3 商業組織の連携・強化戦略

【重点施策】

- (8) 商業会の魅力向上に向けた取組
- (9) 商業活性化に向けた関係者間連携の促進
に向けた取組 ／ 市内商業者の積極的な
事業活動への参画に向けた取組 ／ 商業
振興 に繋がるイベント推進に向けた取組

【 基本戦略3 重点施策9(重要度:B・優先度:B) 】

【 基本戦略1 重点施策4(重要度:B・優先度:B) 】

【 基本戦略2 重点施策5(重要度:A・優先度:A) 】

⑫市内店舗/商業会等との定期的な意見交換

現在、定期的な店舗訪問等を通じて、経営状況の把握や相談対応に努めているところです。経営者の高齢化が進んでいる中、岡谷市で長年愛されてきた店舗がなるべく途絶えることがないよう、引き続き、きめ細やかに対応して参りました。

◆ 市内商業経営状況調査

聞き取り先：市内小売業、飲食業、アミューズメント施設等
頻度：2～3月に1回（R6年度：5月・8月・11月・1月実施）
調査方法：電話、訪問
調査項目：売り上げ状況、資金繰りの状況等

◆ 要望書関係

・岡谷商工会議所（10/7）
・公益社団法人 長野県トラック協会（12/26）

その他、岡谷商工会議所、商業会、随時情報交換、情報提供している。

★聞き取り結果の概要（年末～1月末時点）※売り上げ状況の調査結果について抜粋

【飲食業】忘年会や帰省したお客さんが増加したことなどにより、年末年始は**前年よりも好調**や**前年並み**という店舗が多かったが、1月は物価高やインフルエンザの影響により**半数近くに低調との声**が見られた。

【小売業】年末年始は天気も良好であったことから、**前年よりも好調**や**前年並み**という店舗が多いものの、物価高等の影響により、**嗜好品の売り上げ自体が落ちている**といった意見もあった。

【生活関連 サービス・娯楽業】**好調**または**例年並み**という意見がほとんどであった。

自己
評価

商業者の皆さんと定期的にコンタクトをとることで、経済情勢や消費動向等の変化をスピーディに把握できている。把握した情報を少しでも市の施策や、国・県への要望に反映できるよう努めたい。

【 基本戦略3 重点施策8(重要度:C・優先度:C) 】

【 基本戦略3 重点施策9(重要度:B・優先度:B) 】

⑬岡谷TMO商業活性化事業補助金

岡谷TMOで実施している「商業活性化補助金」に対し、市が原資を支援しています。

○現在までの主な交付実績

【販売促進活動事業】

- ◆いとまち商業会（きつね祭）
- ◆童画館通り商業会（きつね祭）
- ◆東銀座商栄会（だるま祭り）
- ◆イルフプラザ店舗会
（イルフプラザ誕生祭、イルフの日、イルフプラザ夏祭り）

【まちなか活性化推進本部長の認めた事業】

- ◆田中通り商業会（街路灯撤去事業）



だるま祭り



イルフの日



自己
評価

引き続き、商業会による販売促進活動や地域イベントが開催できるよう、支援していく。

【2】岡谷商工会議所

【 基本戦略1 重点施策1（重要度：A・優先度：A） 】

⑭Okaya Pay事業

デジタル地域通貨による地域内での経済循環サイクルを構築して、商業振興の取り組みを実施した。

1. 利用状況

	電子マネー発行額	電子マネー利用額	ポイント発行額	ポイント利用額	発行カード枚数
令和2年度	1247万円	734万円	569万Pt	198万Pt	4,218枚
令和3年度	9532万円	9327万円	2046万Pt	1473万Pt	8,244枚
令和4年度	1億2742万円	1億292万円	4995万Pt	2837万Pt	10,354枚
令和5年度	7663万円	9085万円	606万Pt	1620万Pt	1,312枚
令和6年度	7720万円	8152万円	724万Pt	819万Pt	765枚
〔累計〕	3億8904万円	3億7590万円	8940万Pt	6947万Pt	24,893枚



(R7年2月末時点の実績)

2. 導入店舗

80店舗（内訳：暮らし 23店舗、ファッション 6店舗、美容・健康 11店舗、フード 21店舗、グルメ 19店舗）

3. 各種取り組み

①利用促進のための定期的なキャンペーンの実施

取扱店をより利用していただくことを目的として、キャンペーンを定期的の実施。キャンペーン費用は補助金などを使わず独自財源で実施しており、事業によって生まれた利益を商業振興に投資するということも目指して取り組みを実施した。

キャンペーン実施時には、期間中に開催されるイベントなどの情報も掲載することで、市内の情報発信も併せて取り組んだ。

・秋のキャンペーン

令和6年9月～11月の間、0の付く日と諏訪圏工業メッセ開催日(10/17～19)の12日間、電子マネーでの支払い額の10%をポイントとして付与

＜実績＞ 期間中電子マネー利用総額：19,346,024円 付与ポイント数：1,683,484 Pt

＊長野県のしあわせバイ信州運動キャンペーンと連携

・冬のキャンペーン

令和7年2月1日(土)～28日(金)の期間、支払い時にポイント利用で応募ができ、当選賞品としてポイントを付与、よりポイント利用を促すため、取扱店とのポイント利用額精算時に+0.1円(10%分)を加算して精算

＜実績＞ 期間中ポイント利用総額 1,980,560 Pt 付与ポイント数：600,000Pt



②取扱店拡充に向けた端末機導入の補助

端末機(iPad)1台分の補助金、レシートプリンターなどの無償貸出により、導入費が実質0円になる支援を継続実施。

令和6年度は申請件数0件。

③広域連携の推進

OkayaPay基幹システムを活用した広域連携の推進を図り、観光客など来訪者が地元商店に来店いただける体制の構築を目指すとともに、将来的に諏訪地域広域で利用可能な地域通貨へと発展できるよう、運営体制等について検討した。

今年度は、サービス設計の構築と導入に向けたスケジュールの検討を実施。原則、広域的なサービスとするが市町村が独自にポイントを発行できる仕組みを含めた仕様をつくることができ、それらを実際に運用できるシステム構築の検討段階に移行している。サービス提供は令和8年度中の開始を目指して、関係自治体や団体などと意見交換を実施している。

また、長野県では総合計画において「デジタル地域通貨の普及」を掲げており、これまで実施した研究会において導入に向けた手引きを作成。手引きには、事例としてOkayaPayについて紹介しているが、県全域ではなく同じ経済圏の地域単位をエリアとした、広域的な取り組みが必要という考え方が掲載されている。県では、今後は9つに分かれた地域別でデジタル地域通貨の普及・推進を検討を行うこととしている。その考え方にも従い、広域連携の推進について、今後も積極的に検討を進めていく。



長野県HP
デジタル地域通貨導入の手引き

4. その他

①情報発信

シルキーバスへのバナー掲出、岡谷市民新聞紙面での定期掲載広告を行う他、地域ポータルサイト「トコトコ諏訪」内の特設コーナーにて、月1回キャンペーンや取扱店を紹介する特集記事を掲載。

ポイント+電子マネー
Okaya Pay 秋のキャンペーン
9/10(火)20(金)30(月)
Okaya Pay電子マネーでお支払いすると*
最大10%
戻ってくる
お支払い額
10%!
※Okaya Pay電子マネーでのお支払いのみ対象となります。
Okaya Pay以外での支払い、Okaya Payポイント利用でのお支払いは対象外です。
地域のお店を応援する
オカヤペイを利用して、
みんなでまちを盛り上げよう!
お問い合わせ
岡谷商工会議所 TEL. 0266-23-2345
(平日9:00~17:00)

ポイント+電子マネー
Okaya Pay
オカヤペイ
地域のお店を応援する
オカヤペイを利用して、
みんなでまちを盛り上げよう!
信州の幸せは、裏で育む。
地域愛×経済循環
長野県では「私たちの消費行動で、信州のゆたかな未来を選択しましょう。」をコンセプトに、「しあわせバイ信州運動」のキャンペーンを実施しています。
電子マネー・ポイントの有効期限にご注意ください。
カード裏面に有効期限について記載しています。失効前にご利用ください。
お申し込み・お問い合わせ (平日9:00~17:00)
岡谷商工会議所 TEL. 0266-23-2345
おやかやジャンボ◎2025
当選番号発表は1月21日(火) 詳細はこちら

岡谷市民新聞定期掲載広告

掲載時は商業振興の取り組みやイベントなどの情報も掲載



REPORT ピックアップレポート

Okaya Pay

検索結果: 9件見つかりました

2025.02.03
好評連載中『Okaya Pay × トコトコ諏訪』
#09 ◎ わーい! 岡谷中央通り『洋風居酒屋
かね屋』さんでランチと、Okaya pay 2月の…
by OkayaPayトコトコ諏訪編集部

2025.01.15
好評連載中『Okaya Pay × トコトコ諏訪』#08
雨でも雪でも駐車場の隅で溢れない◎『岡谷
ボウリング王国 スポルト岡谷店』さんでボ…
by OkayaPayトコトコ諏訪編集部

2024.12.04
好評連載中『Okaya Pay × トコトコ諏訪』#07
マジカルミステリーツアー〜みたく、岡谷の老舗
『茶 小泉』さんでお茶と丸山タンクを巡る旅…
by OkayaPayトコトコ諏訪編集部

2024.11.05
連載中『Okaya Pay × トコトコ諏訪』#06 ウ
エーイウェイ! 岡谷の老舗『西瀬酒造』さん
で、酔き良きお酒をチェックしてきたべい! の香
by OkayaPayトコトコ諏訪編集部

2024.10.07
新連載『Okaya Pay × トコトコ諏訪』#05 プ
ブーン! スズキー路『高杉自動車』さんに、
Okaya Payの上手な使い方を聞いてみたべ…
by OkayaPayトコトコ諏訪編集部

2024.09.03
新連載『Okaya Pay × トコトコ諏訪』#04 ヤ
ヤヤ! Okaya Payでゼロのつく日がお得な3ヶ
月始まるっぺい! の香
by OkayaPayトコトコ諏訪編集部

2024.07.30
新連載『Okaya Pay × トコトコ諏訪』#03 ヨ
ヨヨ! 100年企業『靴のクササ』さんにGO!
Okaya Pay利用Okayaペイ◎の香
by OkayaPayトコトコ諏訪編集部

2024.07.09
新連載『Okaya Pay × トコトコ諏訪』#02 ム
ムッ! 肉の老舗『山城屋』さん、Okaya Pay利
用オッケーべい! の香
by OkayaPayトコトコ諏訪編集部

2024.06.11
新連載『Okaya Pay × トコトコ諏訪』#01 ム
ムッ! Okaya Pay man (オカヤペイマ
ン) 登場! の香
by OkayaPayトコトコ諏訪編集部



トコトコ諏訪

Okaya Pay特設コーナー

②長野県「しあわせバイ信州運動」への参画

長野県では県産品の地産地消や地元商店の利用促進に積極的に取り組むことで地域内経済循環を推進する表記の取り組みを行っている。OkayaPayのキャンペーンポスターや広報媒体にてロゴマーク等を表示することで、本運動の周知を図るとともに、OkayaPayが地域のお店をより利用してもらうことが目的の取り組みであることを周知している。また、長野県としてもデジタル地域通貨の普及を図る狙いもあり、本運動の公式HPなどで、OkayaPay事業について紹介いただいている。



しあわせバイ信州運動取組紹介

③視察、セミナー講師等による事例紹介

Okaya Pay事業は、運営に必要な費用を補助金や負担金に頼らない自走できる体制や利用者に沿ったサービス提供、資金決済法に対応した法令遵守を前提とした仕組みなどが先進事例として注目されており、全国より視察や講師派遣等の依頼がきている。

尚、視察受入の際には実際にOkaya Payを利用いただくよう紹介することで、視察受け入れによる取扱店への波及効果を生む工夫も実施している。



信州を楽しみつくるWebマガジン「アルラ」

地域愛×地域循環に取り組むデジタル地域通貨

「Okaya Pay(オカヤペイ)」

・令和6年度 視察等件数 11件（R2 7件、R3 6件、R4 13件、R5 9件）

玖珠町議会、玖珠町商工会（大分県）、長野県産業労働部・諏訪地域振興局、ライオンズクラブ国際協会334-E地区レオクラブ（講師派遣）、ぎふときそふくしま協同組合（木曽町、講師派遣）、TOPPANデジタル(株)地域PAYユーザー会（名寄商工会議所（北海道）・香美市商工会（高知県）・柳川おもてなしカード会（福岡県）合同視察）、柳川おもてなしカード会（福岡県、訪問・情報交換）、茅野商工会議所（訪問・事業説明）、長野県デジタル地域通貨情報交換会（事例紹介）

メディア等掲載：日本経済新聞（9/28）、地方創生の政策効果とデータ分析（書籍）

自己
評価

限られたエリアや店舗の中で資金を循環させることを目的としている中、資金面の補助などの支援を受けず、自立した運営が継続できている。また事業により生まれた利益を活用した消費喚起にも取り組んでいる。長野県とも協力しながら、岡谷市を含む諏訪地域全域で利用できるようなサービスへ昇華させていきたい。

⑮地域資源活用推進事業

1. 岡谷シルクブランド協議会

岡谷市役所ブランド推進室と連携を図り、シルク製品の認証審査や認証製品の販路開拓、地域団体商標の登録を目指して取り組みを実施した。

①岡谷シルク認証審査ワーキンググループ

岡谷シルクブランド認証基準に基づく審査を実施するワーキンググループの座長及び委員を当所職員が務め、審査を実施。これまでに86件の商品・サービスを認証した。

②物販イベント等への出展

岡谷シルクに関連する商品の販路開拓に向けた物販イベント等に出展。商品の販売に併せて岡谷市の紹介もすることで、来訪する観光客等を増やす取り組みも併せて実施した。当所担当により出店したイベントは以下の通り。

- ・11月23日(土)、24日(日) 産業フェアしずおか2024（静岡県静岡市）



産業フェアしずおか

2. 岡谷味噌ブランド事業

地域特産品である味噌を活用したブランディングや販路開拓などの取り組みを実施。

① 岡谷味噌認定制度

岡谷市内の味噌製造事業者の味噌を使った商品や料理を提供している事業者を対象に、認定基準を満たした事業者を認定する制度。単発的なPRではなく、地域全体で岡谷味噌のブランド力を高めることを目的として実施。現在までに24事業所(市外6事業所含む)を認定して、岡谷味噌HPにて情報を掲載している。

② 首都圏でのPR

岡谷味噌を広く知っていただくことを目的として実施。実施にあたり、首都圏在住の若者や都内で営業する飲食店と連携を図っている。

- ・岡谷発酵三昧定食（令和6年11月、47都道府県レストラン箕と環）
- ・諏訪地域振興局主催「信州諏訪の深く冬を味わう」（令和6年12月14日(土)、15日(日)、銀座NAGANO）

③ その他

(株)未来図（松本市）主催による「岡谷発見！発酵ロゲイニング」を令和7年3月8日(土)に開催。事前申込者80名（半数が長野県外より参加）が、味噌製造事業者や史跡などを巡るイベントであり、味噌などを切り口に、来訪者増と情報発信につながるイベントとなった。



令和6年度新たに認定した事業者提供の商品



信州諏訪の深く冬を味わう

自己
評価

地域に根付いた資源を活かした取り組みであり、特に岡谷味噌については、飲食店などと連携を図った商業振興の取り組みにつなげることができている。こういった取り組みを地域外に発信することで、岡谷への来訪者増を図り、商業振興につなげたい。

⑯創業支援及び新事業創出等支援事業

創業を希望する方を対象に個別及び集団での支援を実施。令和6年度の支援状況は以下の通り。

1. 継続個別相談支援事業（諏訪地域広域専門指導員による全4回の個別創業支援）

5件

2. 岡谷市の創業者向け補助金申請に向けた事業計画書作成支援

1件

3. 諏訪地域創業スクール

10/5(土)、10/12(土)、10/26(土)、11/9(土)、11/16(土)、11/30(土)

計6日間、修了者19名（申込者数30名）

4. その他

創業を希望する方に対して、随時、窓口にて支援を実施



自己
評価

創業を希望される方に対して、スクール形式や個別相談にて十分な対応ができている。今後は創業者の掘り起こしにつながる啓発的な取り組みも行っていきたい。

⑰事業承継支援事業

市内事業者の事業承継にあたり、市や公的専門支援機関等と連携し、個別及び集団での支援を実施。
令和6年度の支援状況は以下の通り。

1. 個別支援事業

専門家派遣等による支援の実施。専門家や公的専門支援機関等と連携して、継続的な個別支援を実施
4件

2. 事業承継・引継ぎ支援セミナー事業

諏訪地域広域専門指導事業として、事業引継ぎを希望する事業者に研修会を企画
「会社成長のためのM & A 経営者対談セミナー」3/19(水)開催（5名参加予定）

3. 個別相談事業

事業承継等の個別相談に対応するため、当所経営指導員と諏訪地域広域専門指導員等による個別相談支援体制を設置

4. その他

事業承継を検討する事業者に対して、窓口にて随時対応

自己
評価

相談件数はあまり多くないため、事業承継の方法として自身の親族以外への承継やM&Aなどへの理解を深める取り組みも必要。

⑱移住・定住促進支援事業

岡谷市役所ブランド推進室を始め、岡谷市役所内の関係課と当所が事務局を務める岡谷市ブランドプロモーション協議会にて、移住・定住促進に向けた事業を実施。協議会は市内商業者を始めとした民間事業者の方々が委員を務め、事業者の視点で事業の検討を行うことで、行政・経済団体では取り組むことができないような取り組みを実施できる体制となっている。

＜主な取り組み状況＞

・人やコトを中心とした情報発信WEBサイトの検討

他地域の取り組みを参考に、岡谷市で活動する人とその人が取り組むコトを紹介するポータルサイトを検討。次年度以降、岡谷市地域おこし協力隊員と連携して構築予定。

・出張！信州OKAYA食堂～人と食の交流会～：3/29(土)開催予定

首都圏在住者で岡谷市をあまり知らないという方をメインターゲットとして、東京都中央区にある47都道府県レストラン箕と環にてイベントを実施。協議会委員によるトーク企画や、特産品(うなぎ・味噌など)を提供することで、岡谷市を知ってもらい、関係人口創出につながることを目的として実施。



自己
評価

同協議会は民間事業者が中心となり企画・運営できる組織体制である。より柔軟な発想と素早い行動力で事業が推進できるよう、引き続きサポートをしていく。

⑪プロスポーツチーム連携による地域振興の推進

長野県内を拠点として活動するプロスポーツチームは、地域に根差した活動をしており、また競技によっては会員事業所に社員として所属する選手もいる。そのため、各スポーツチームと連携を図り、地域振興に向けた取り組みを実施。

1. 松本山雅FCとの連携

山雅後援会岡谷支部と共同でイベント等を実施。ファン、サポーターが参加する形式で実施した。

・公式戦アウェイ観戦イベント（NPO法人維新塾主催）

：10月5日(土)、26日(土)、11月9日(土)、24日(日)、
12月7日(土)、2月23日(日)、3月1日(土)、9日(日)、29日(土)（カネイチビル1階）

※入場は地元商店にて1,000円以上購入したレシート持参の方のみとして、

地元商店の利用促進を図った取り組みとして実施。

・2025シーズン開幕直前！信州緑化大作戦＆チラシ配り（公式戦PRポスターなど配布）

：2月22日(土)中央通り・イルフプラザ周辺



商店を訪問してポスター配布



アウェイ戦観戦イベント

自己
評価

イベントを通じて、地元商店の利用促進につながる効果がある。ファン・サポーター団体が地元住民で組織されているプロスポーツに限りがあり、主体的に動く個人や団体の掘り起こしが必要。

【3】岡谷TMO

②⑩ 中心市街地の情報把握と活用

空き家見学会・まちあるき

中心市街地に存在する空き家・空き店舗等の情報把握を行い、その活用として空き家見学会・まちあるきを実施。

空き家等の物件紹介に加え、まちの歴史や魅力の発信、新規出店事例の紹介も交えるなど、まち歩き要素を強めたことで、参加の敷居を下げ、毎回一定数の参加者となっている。

また、Facebook広告の活用や、辰野町で実施の空き家見学会と連日開催となるように開催日時を調整したことにより、県外からの参加者も多く見受けられている。

5月より隔月にて開催し、本年度は合計6回（累計26回）参加者合計は13名となった。

1. 空き家見学会開催回数：6回 ※3月5日現在（3/16に第6回を開催）
2. 空き家見学会参加者数：13名（5月/3名、7月/9名、9月/1名、11月/6名、1月/2名）
3. 空き家利用実績：7件（平成30年度からの累計）

自己
評価

市外在住者を中心にコンスタントに参加いただいている。紹介する物件が固定化しないよう、物件所有者と関係性を構築することが課題。



②1 まちづくり人材の育成

中小機構 中心市街地・商店街等診断・サポート事業

中小機構による、まちの課題解決の為に専門家を派遣する制度であり、令和6年度は本制度を活用。地域の持続的発展を推進する組織の立上げを目指し、まちづくり会社設立の検討や、拠点施設整備に向けた意見交換を行ったほか、まちづくりの機運醸成のためのセミナーの開催、ビジョン共有や人材発掘を目的とした「岡谷まちなか未来図」の作成を行った。

【支援内容】

第1回支援：令和6年7月23日「専門家による現地踏査/ヒアリング」

第2回支援：令和6年8月29日、30日「支援による進行方法確認/専門家による行政ヒアリング」

第3回支援：令和6年10月11日「未来図作成に向けた調整/まちづくり会社設立検討/拠点活用構想」

第4回支援：令和6年11月27日「未来図進捗確認/まちづくり会社設立検討/拠点活用構想」

第5回支援：令和7年1月22日「まちづくり会社設立検討」

第5.5回支援：令和7年2月7日「岡谷駅周辺整備についての情報共有/連携方法検討」

第6回支援：令和7年3月3日「まちづくり会社設立検討/次年度の進行確認」



中小機構 中心市街地・商店街等診断・サポート事業

【まちづくり会社設立に向けて】

設立検討の経過

商工会議所として収益事業の実施が難しく、事業によりお金を生み出して、まちのために再投資することができない。また、国の提案するまちづくりにおける理想の組織体制では、地方公共団体や商工会議所をサポート役に、他の団体やプレイヤーと連携を行う中核的組織が必要とされているが、現体制ではそれを担う組織が存在しない。

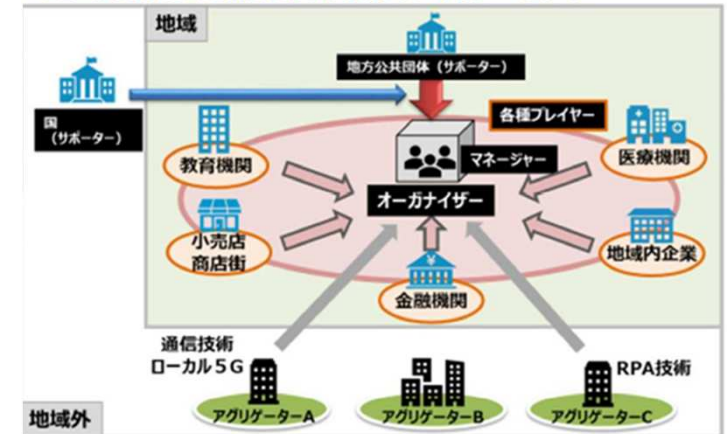
そのため、地域の持続的発展を推進するための体制構築のため、まちづくり会社の設立を検討することとした。

設立に向けた具体的検討

専門家の作成した、まちづくり会社設立趣意書及び企画書に沿って、目指す将来/方針/取組みの柱/具体的な事業/収益性/実現可能性/優先度などについて検討を行い、まちづくり会社の骨格を形成することができた。

また、商工会議所役員及び委員、岡谷市への情報共有・意見交換を行うことで、設立に向けた土台を構築した。

＜地域の持続的発展に向けた体制（イメージ）＞



【経済産業省の示す「地域の持続的発展」のための理想的な体制】

中小機構 中心市街地・商店街等診断・サポート事業

【セミナー等の開催】

関係者だけでなく、地域住民等も広くまちづくりに関わることを目的に以下のセミナー等を開催。

第1回 これからの岡谷市の中心市街地を考えるセミナー【令和6年9月27日】

静岡県富士市にてまちづくり会社を経営している佐野荘一氏を講師に、活動内容の紹介やまちづくりの考え方などを学ぶことで、参加者それぞれが岡谷の可能性を考え、まちづくりに向けた機運を高めた。



第2回 これからの岡谷市の中心市街地を考えるセミナー【令和6年10月10日】

イラストレーター/手書き地図作家の江村康子氏を講師に、岡谷がより魅力的に感じられるような再発見の視点や、人に伝えるための表現方法を学んだ。参加者が5人程度のグループに分かれ、実際に地図を描くことで、それぞれが岡谷の持つ魅力に改めて気が付いた。



第1回 岡谷まちなか会議【令和7年2月7日】

岡谷まちなか未来図の発表及び制作者によるトークセッション、参加者間でのグループワークなどを行うイベントを開催。未来図の感想や自身の関わり方などについて話し合い、参加者それぞれが将来の岡谷や自分の立ち位置を考える機会となった。



中小機構 中心市街地・商店街等診断・サポート事業

【岡谷まちなか未来図】

将来の岡谷をどのようにしていきたいか、できたらいいな、をイラストでまとめて視覚的に示すことで、ビジョンの共有によるプレイヤー発掘や仲間づくりを行うことを目的に未来図を制作。

制作には、市内で活動をしている方や地域住民など、様々な属性の人材からなる「岡谷まちなか未来図編集部」を組織し意見を収集。収集した意見に基づき第2回セミナーで講師を務めた江村康子氏がイラストを描き未来図を完成させた。

【編集部開催状況】

- 令和6年10月31日：岡谷まちなか未来図編集部キックオフミーティング
- 令和6年12月9日：岡谷まちなか未来図編集部コアメンバーミーティング
- 令和6年12月23日：岡谷まちなか未来図編集部全体会①
- 令和7年1月21日：岡谷まちなか未来図編集部全体会②
- 令和7年3月3日：岡谷まちなか未来図編集部振り返り会



自動運転バスの走行、飲食店が集積したエリア、自然や緑の溢れる広場、製糸や土器などの歴史に紐づく要素、やまびこ公園や諏訪湖などのアクティビティなど、岡谷の魅力を再発見し、現代から未来に繋がる、明るく楽しい内容となった。

自己
評価

地域の持続的発展のために必要な課題の再整理や実施事業について、具体的な検討を進めた。また、岡谷まちなか未来図を制作し、ビジョンの共有及び人材の発掘を進めることができた。

②道路・公園等の公共空間の有効活用

Let's play OKAYA 2025 春 （3/5現在）

屋外空間有効活用事業として、ララオカヤ南側道路を会場に、JR岡谷駅や(株)アイ・コーポレーションと共同でイベントを開催。(11月開催予定であったが雨天のため3月に延期)

岡谷駅やカジュアルバル・グウにて開催されるイベントに併せ、その導線となる道路に人工芝や椅子やテーブル、キッチンカー等を配置することで居心地の良い空間に作り変え、歩行者の滞在時間を増加させることで、会場全体の雰囲気づくりや、エリアの価値向上を図る。

本事業の実施により、中心市街地に賑わいを生み出すと共に、歩行者に対して屋外空間活用の可能性を示し、今後の中心市街地の在り方を考えるきっかけをつくる。

1. 開催日：令和7年3月22日（土）
2. 開催場所：ララオカヤ南側道路（市道岡谷275号線）



3/29開催予定の告知バナー

自己
評価

参加者を募り空間づくりを行うことで、プレイヤーとなる人材の発掘・育成を狙ったほか、道路空間活用の可能性を示すことができた。

【 基本戦略3 重点施策9(重要度:B・優先度:B) 】

②③ 中心市街地イベントの実施支援

商業会イベントの実施支援

- ・いとまちスクエア【令和6年9月29日】（備品貸出）
- ・イルフプラザ防災安心安全フェスタ【令和6年11月16日】（イベント当日の受付など）
- ・童画館通りクリスマスマーケット【令和6年12月21日】（キッチンカー手配/会場設営など）
- ・イルフプラザ岡谷のお弁当9【令和7年1月11日～12日】（販売事業者調整/販売員など）



童画館通りクリスマスマーケット

自己
評価

商業会によるイベントを支援し、中心市街地に賑わいをもたらすことができた。一方で主体性をもって取り組む商業者が限られており、支援が必要な商業会もあることが課題。

【 基本戦略1 重点施策1（重要度：A・優先度：A） 】

【 基本戦略2 重点施策6（重要度：B・優先度：A） 】

②④情報発信の強化

LCV-FM

毎週金曜日正午～15分程度、イルプラザ1階LCVFMサテライトスタジオから個店の魅力発信や、中心市街地の活性化に向けたPRなど、商店主などを招いて生放送を実施。

ラジオ放送の様子を、LCV内のテレビ番組でも放送していることから、出演者が実際に販売している商品等をスタジオに持込み、ラジオ放送に併せ、映像による情報発信も行った。

【放送回数52回、出演者数73人（3/5現在）】



3/29開催予定の告知バナー

自己
評価

商店街関係者やイベント主催者など、岡谷で活躍する方を招き、鮮度の高い情報を発信することができた。

【基本戦略3 重点施策8(重要度:C・優先度:C) 重点施策9(重要度:B・優先度:B)】

②⑤商業活性化補助金の交付

市内の商業振興を図ることを目的に、市内の商業会等で実施したイベント等に対し、予算の範囲内で補助金を交付した。

【申請件数17件、交付済額3,083,000円（3/5現在）】

			R6実績	R5実績
1. 販売促進活動事業(連携)	限度額 3 4 万円	の範囲内で補助	【 2件】	【 1件】
" (単独)	" 3 0 万円	"	【 13件】	【 12件】
2. 施設整備事業	" 3 2 万円	"	【 0件】	【 3件】
3. 商業セミナー・活性化研究事業	" 9 万円	"	【 0件】	【 0件】
4. 商店街環境整備の調査研究事業	" 1 0 万円	"	【 0件】	【 0件】
5. 情報収集事業	" 9 万円	"	【 0件】	【 0件】
6. 商店街等装飾事業(連携)	" 3 4 万円	"	【 0件】	【 0件】
" (単独)	" 3 0 万円	"	【 1件】	【 1件】
7. 店舗等知名度向上事業	" 5 0 万円	"	【 0件】	【 0件】
8. 安全安心お買い物等環境整備事業	" 1 5 万円	"	【 0件】	【 0件】
9. まちなか活性化推進本部長の認めた事業	" 3 2 万円	"	【 1件】	【 0件】
合計			【 17件】	【 17件】

○3/5現在までの主な交付実績

- ・イルフプラザ店舗会(イルフの日ほか)、いとまち商業会(岡谷きつね祭)、東銀座商栄会(だるま祭り)・・・販売促進活動事業
- ・田中通り商業会(街路灯撤去事業)・・・まちなか活性化推進本部長の認めた事業

自己
評価

商業会などが開催するイベント等を対象に補助金を交付することで、イベントの規模を拡大したほか、商業会活動の活発化に繋げ、岡谷市全体の商業の活性化を図った。

【4】岡谷市商業連合会

②⑥商業会等に参加する店舗を対象とした販売促進事業

お買い物するなら岡谷！おかやジャンボ2025

商店街や地元商店の利用促進を目的に、宝くじ形式による販促事業を実施し、年末年始の繁忙期に多くの抽選券を配布し、閑散期となる2月に消費喚起を促した。賞品として、現金や商店で利用可能な商品券、OkayaPayポイントを進呈することで、イベント終了後も市内店舗の利用を促進した。

配布総数：20万枚

配布期間：令和6年12月2日(月)～令和7年1月14日(火)

配布方法：参加店で買物をした人を対象に1,000円毎に1枚を配布

当選賞品：1等：現金5万円×5本

2等：抽選券配布店で利用できる商品券3,000円×20本

3等：抽選券配布店で利用できる商品券1,000円×200本

4等：OkayaPay50ポイント×20,000本

Wチャンス賞：姉妹都市物産3,000円相当×100本



自己
評価

売上が増加しやすい年末年始に抽選券を配布し、売上が減少しやすい2月に商品券やOkayaPayポイントを配布することで、消費喚起を促した。

【基本戦略3 重点施策9(重要度:B・優先度:B)】

②7 専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会

岡谷市童画館通り商店街協同組合講演会（共催:岡谷商工会議所、後援:岡谷市商業連合会）

商店街活性化や岡谷駅周辺整備との連動等の考え方や取組みについて学ぶため、全国で屋外空間活用を推進している「一般社団法人ソトノバ」の石田祐也氏を招き講演会を実施。屋外空間活用(プレイスメイキング)は、「まちに関わる人が協働して『プレイス』をつくるプロセス」とし、「つくったものを使う」のではなく「使われるものをつくる」考え方を大切にしているとした。

「居心地が良く、歩きたくなるまちなか形成」に向けたポイントとして、アクションは「手軽に」「早く」「安く」行うことや、フットワークの軽い人材を軸に組織づくりを行う、などが説明された。

講演会には商店街関係者のほかに、行政職員や市議会議員、商工会議所職員などが参加し、屋外空間活用の関心の高さが伺えるものとなった。

1. 実施日：令和7年2月19日（水）
2. 講師：石田 祐也氏（合同会社ishau代表/一般社団法人ソトノバ共同代表理事）
3. 参加者：約35名



自己
評価

講師の石田氏は全国でプレイスメイキングを手掛けた実績があり、その考え方や取組みを学ぶことで、今後の商店街活性化や岡谷駅周辺整備などに必要な要素について理解を深めることができた。